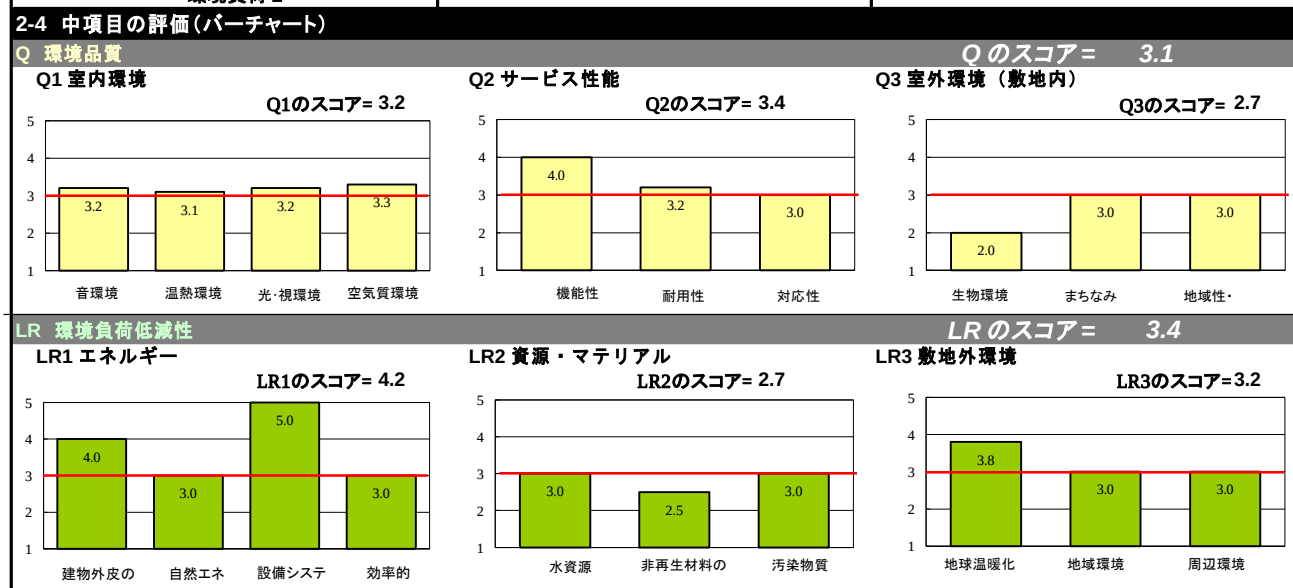
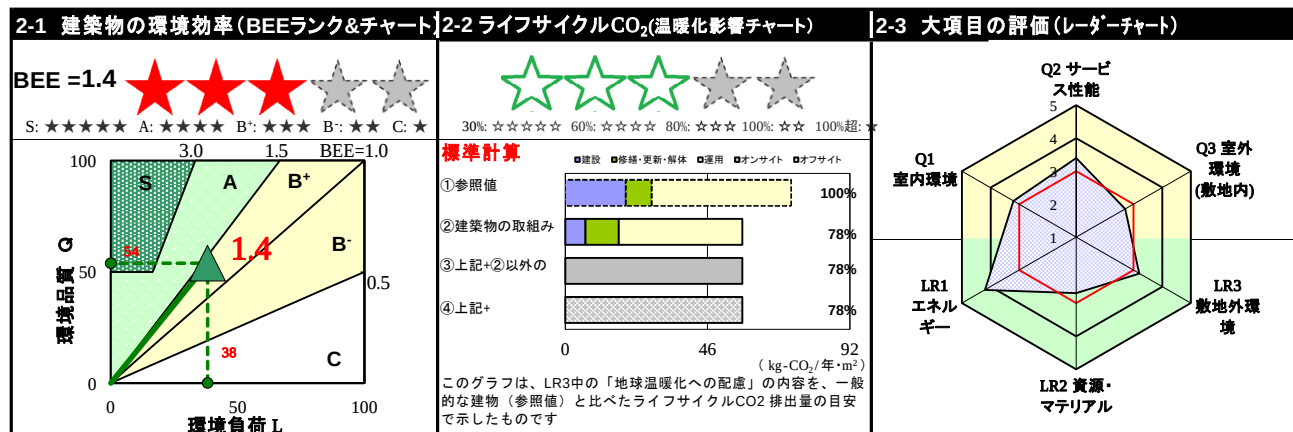
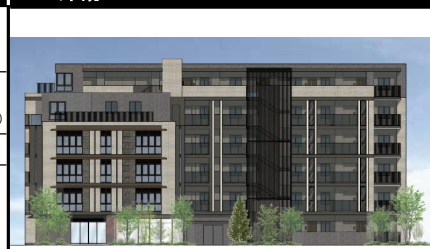


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン枚方市岡南町Ⅱ 新	階数	地上6F
建設地	枚方市岡南町	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	175 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年4月25日
敷地面積	1,640 m ²	作成者	株式会社日企設計
建築面積	862 m ²	確認日	
延床面積	3,805 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府枚方市に計画された地上6階建て、RC造の共同住宅 室内環境とサービス性能に配慮した計画とした		その他 特になし
Q1 室内環境 遮音性能の高いサッシを採用している	Q2 サービス性能 維持管理や耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材や配管を採用している	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
LR1 エネルギー 外皮最不利住戸UA値=0.79、住棟でのBEI値=0.85を達成	LR2 資源・マテリアル 冷媒R32の空調設備を採用している	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物以下となる計画としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2024年版				受付番号		R7-0015		
大阪府の重点評価(結果)				Osakafu・新築・既存 2024V1.3				
【建物概要】 建物名称			(仮称)レーベン枚方市岡南町Ⅱ 新築工事					
建設地			枚方市岡南町					
用途／区分			集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B+		
①		CO2削減				4		
②		みどり・ヒート アイランド対策				3		
③		断熱性能				4		
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					4
④		エネルギー消費性能				5		
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					2
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外			評価対象外		
⑤		自然エネルギー直接利用				○		
		再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
			エネルギー消費量の報告				対象外	
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮				3.8	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0		
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	4	
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		外皮最不利住戸UA値=0.79、住棟でのBEI=0.85を達成						